

別冊 九大広報 vol. 9

九州大学基金発信 2026 Jul.

特集 1

企業型冠奨学金 奨学生に聞く

— 企業の現場に触れて見えてきた将来 —

■ TOPICS「九州大学エンダウメント型基金」について

■ 開催予定イベント紹介



九大会員の皆さまへお得な特典情報

KEYAKI STYLE
GRILL&BEER NIGHT
7.18・9.30
18:00-21:00 (L.O. 20:30)

～炭火グリルと夏の生ビールプラン～

九大会員様限定 特別割引特典 お一人様
¥6,000 → ¥5,400 (税別)

【大皿シェアコース】
・生ハムとトマト、モッツアレラチーズのサラダ
・フライドポテトとエビのから揚げ
・アラビアータンとミニチキンペンネ
・炭火焼きグリルの鶏合せ 3種のソース
・メロヘンアイス
※3日前までのご予約となります。
※火・土・日・祝はプランご提供外です。

飲み放題付き
2名様以上へ

飲み放題 (90分)
生ビール (アサヒ) / レモンサワー
ウィスキー / ハイボール / ワイン
焼酎、他 / ソフトドリンク 他

Charcoal grill
KEYAKI
〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲4-6-7
博多エクセルホテル東急2階
TEL 092-262-0109

中国料理 桃林
各コース 120分 飲み放題付き

宴会プラン
美食と飲み放題
九大会員様限定

月華コース ¥10,000 (税・サービス料込)
夜宵コース ¥7,000 (税・サービス料込)

表示価格より **5%割引**
※2026年12月31日まで

西鉄グランドホテル B1F 中国料理 桃林
ご予約・お問い合わせ 092-781-0431
月曜 定休日



RESTAURANT
Hiramatsu

レストラン ひらまつ 博多
福岡県福岡市博多区下川端町3-1 博多リパレン 2F
TEL 092-263-6231



RESTAURANT
Kubotsu

レストラン Kubotsu
福岡県福岡市中央区天神2-5-55 レソラ天神 4F
TEL 092-724-0600



九大会員特別価格 ご飲食代 20% OFF

九大会員
とは？

九州大学基金に一回1万円以上、又はクレジットカード決済で
年2千円以上を継続的にご寄附くださる方への会員制度です。
九大会員を対象にした学内外の特典を多数ご用意しています。

特典の一覧はコチラ



全国で使える特典も
ご用意しています！

「九大会員特典」で検索！



九州大学

〔発行〕九州大学基金事業推進室 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744 TEL: 092-802-2150



企業型冠奨学金
奨学生に聞く

しもくぼ げん き
下窪 元貴さん
工学府土木工学専攻2年



いしはら ち さ
石原 知咲さん
工学府土木工学専攻1年



み はま なごみ
三濱 和さん
工学部応用化学科4年



企業型冠奨学金 奨学生に聞く

企業の現場に触れて見えてきた将来



「社会」を知ることで、学びは動き出す

九州大学基金では、2025年度より、企業からのご寄附をもとに「企業型冠奨学金」がスタートしました。本奨学金は、企業の想いを反映した給付型の制度として、学生が実社会と向き合いながら学ぶ機会を支援しています。本特集では、奨学金を通じて生まれた3人の学生の声をお届けします。

「社会や企業からの支援について、どのように感じましたか？」

三濱さん…自分の進路が企業と直接結びついているわけではない中で、それでも支援していただけたことが、そして会社のトップの方と直接お話をする機会を設けていただき、一人の学生として向き合ってもらえたのがすごくありがたかったですね。

下窪さん…「企業」に対するイメージがかなり良くなりました。学生に対してここまで応援してくれるのかと感じましたし、期待されていることも伝わってきて、モチベーションアップにもつながりました。

石原さん…これまでは企業は「働く場所」という意識が強かったのですが、学生の段階から関わって支えてくれる存在なんだと感じました。

「インターンシップや企業との関わりで印象に残ったことは？」

石原さん…企業が社会課題の解決にどう取り組んでいるのかを具体的に知ることができた点が印象的でした。例えば、CO₂を吸収するコンクリートや、ひび割れを自動で修復する技術など、新しい技術を積極的に取り入れていて、社会のニーズに対してスピード感を持って対応していることを実感しました。

三濱さん…もともと企業で働くことに対してあまり具体的なイメージを持っていなかったのですが、会社の方々に実際にお話を聞く中で、皆さんが自分の仕事に誇りを持って働いている姿がとても魅力的に感じて、これまでと少し見方が変わりました。

下窪さん…大学の研究では一つの分野を深く掘り下げますが、企業では複数の分野が組み合わさって課題解決が行われている、その違いが非常に刺激になりました。

「今後にどうつながっていききたいですか？」

三濱さん…将来的にはアカデミアで成果を出し、成長した姿で奨学金をいただいた企業に直接お礼を伝えられたらいいなと思っています。

石原さん…他の奨学生との出会いも大きな収穫でした。異なる分野の話を聞いて刺激を受け、自分も頑張ろうと感じました。こうした縁を今後も大切にしていきたいです。

下窪さん…奨学金によって余裕が生まれたことで、これまで諦めていたことにも挑戦できるようになりました。これからは自分の専門性をさらに深めていきたいです。



2026年度 企業型冠奨学金 支援企業のご紹介



※五十音順

本事業概要は右のQRより九大基金のホームページをご覧ください。



「奨学金に応募したきっかけと企業を選んだ理由を教えてください。」

下窪さん…修士課程に進学するタイミングで仕送りが減ることが決まっていたのでアルバイトを増やさないといけない状況でした。でも研究もじっくりやりたい。その狭間で悩んでいたときに、この奨学金を知りました。私が選んだ企業の奨学金は、自分の専攻と分野が近く、募集要項から「学生を応援したい」という想いが伝わってきたのも、応募の決め手でした。

石原さん…私はちょうど将来のことを考え始めた時期でした。土木を学ぶ中で企業が実際にどんなことをしているのか知りたいと思っていて。この奨学金はインターンシップも含まれているし、単なる経済的支援ではなく、経験もセットになっているところに惹かれて応募しました。

三濱さん…私は、将来は博士課程に進学したいと考えていますが、家庭の経済状況で難しいと言われたことがきっかけです。企業の奨学金は就職前提のものが多い中で、この奨学金は進路に制限がなく、選んだ企業から頑張る学生を応援したいという趣旨が明確に伝わってきたので応募しました。

「実際に支援を受けてみて、どのような変化がありましたか？」

三濱さん…私は経済的な支援ももちろん大きかったんですが、それ以上に、自分と向き合うきっかけになったなと感じています。報告会で研究紹介をする中で「自分が何をやりたいのか」「何を目標にするのか」を改めて考えるようになりました。

〳 ご支援いただいた企業の皆さまに心より感謝申し上げます 〳

終了した
寄附プロジェクト
のご報告

各プロジェクトにご寄附をお寄せいただいたすべての皆さまに、
心より感謝申し上げます。

九州大学公開講座 Kyushu University Open Explorations 100『総合知』探究プロジェクト



公開講座「Q.O.E.100」は、延べ3,200名を超える方々に受講いただきました。本講座を通じて、本学の研究成果を広く社会に発信するとともに、研究者と、企業関係者や高校生を含む一般の方々との間に、多くの「つながり」が生まれる場となりました。受講者からは、「視野が広がり、新たな気づきが得られた」などの声が寄せられました。
本学は今後も、社会との多様な連携を通じて、「総合知」の創出・発信に向けた取組みを推進してまいります。

募集期間 2025年7月18日～2026年3月31日 寄附総額 23,800,000円

NEXT STAGE!

これまでの成果を、次のプロジェクトへ — 後継プロジェクトが決まっている取組み

九州大学デジタル資料整備事業

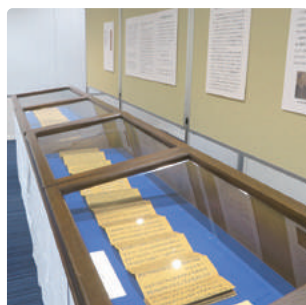
虫害で解読不能だった貴重書などを数十点ほど修復・デジタル化公開したほか、重要文化財をはじめとした本学所蔵の展示企画を5回にわたって実施することができました。2026年4月1日からは、附属図書館における資料・空間・サービスのさらなる充実を図るため、新たに「九州大学附属図書館整備事業」を開始しました。



後継事業の詳細は
こちらから



貴重書の修復



重要文化財展示

募集期間 2021年4月1日～2026年3月31日 寄附総額 4,845,204円



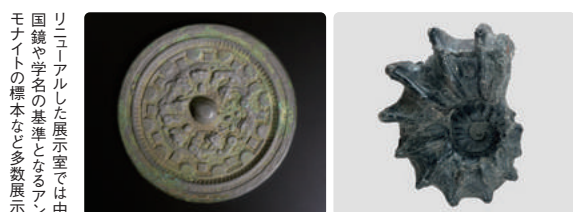
新しくなった展示室

総合研究博物館 箱崎サテライト拠点化事業

いただいたご寄附によって常設展示室をリニューアルし、2026年5月に展示を再開しました。約170万点の学術標本・資料を分野横断的に再構成し、歴史的家具とともに「総合知」を可視化しました。また、後継事業として「総合研究博物館標本整備・保存・活用プロジェクト — 発見を生むコレクションを、次の100年へ —」を開始し、当館所蔵の学術標本資料を次の100年へつなぐ取組みを継続します。



後継事業の詳細は
こちらから



リニューアルした展示室では中国銭や学名の基準となるアンモナイトの標本など多数展示



福岡から世界へ知の財産を残すために引き続きご支援ください

総合研究博物館
丸山宗利 准教授



後継事業としてスタート！

募集期間 2022年7月8日～2026年4月30日 寄附総額 18,761,000円

Grateful for your support!

終了した寄附プロジェクトのご報告

ご支援の感謝と成果のご報告

— 募集期間を終えたプロジェクトについて —

2026年4月30日までに寄附募集を終了したプロジェクトにつきまして、多くの皆さまより温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。お寄せいただいたご寄附は、各プロジェクトを通じて、教育・研究環境の整備、公開講座の実施、研究基盤の充実などを目的として活用されました。



イースト2号館1階にある記念モニュメント



法文学部創立100周年記念式典(2024年)

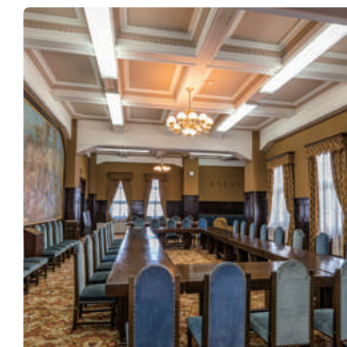
法文学部
創立100周年記念プロジェクト

これまで記念事業として、創立100周年を祝う記念式典やモニュメント設置、記念誌の作成等を実施しました。今後は、人社会系4部局の協働事業の拡充、個別事業の拡充について具体的に検討・実施し、教育・研究の一層の充実と社会への貢献を図って参ります。

募集期間 2022年9月29日～2026年3月31日 寄附総額 22,148,000円

近代建築物の保存活用プロジェクト
～箱崎サテライト旧工学部本館改修支援事業～

旧工学部本館は2027年に改修工事完了を見込んでおりましたが、2024年に箱崎跡地事業の優先交渉権者(現土地利用事業者)が決定したことを受け、その提案内容を踏まえた活用方針の検討に時間を要しており、工事開始までは今しばらく時間を頂戴する見通しでございます。寄附金の使途及び工事の進捗は九州大学基金のWebページにて報告させていただきます。



貴賓室



旧工学部本館

募集期間 2022年9月1日～2026年3月31日 寄附総額 11,286,445円

九州大学病院における次世代基盤法を用いたデータサイエンス研究

健康・医療情報以外の購買データを次世代医療基盤法上で扱う初の試みとして、関係機関と協議を進めました。2025年4月からは匿名加工に加え、仮名加工医療情報としてもデータ提出を開始、2025年7月には認定仮名加工医療情報利用事業者登録を取得し、体制整備を推進しました。



募集期間 2024年3月27日～2026年2月28日 寄附総額 23,020,000円

DATE
7月24日
[金]北九州からスタート！
「今から始める終活準備セミナー」を開催します

今回から「早めに始める終活準備セミナー」とテーマを一新し、本年も全国4か所で開催します。本セミナーでは、認知症に関するお話をはじめ、遺言・相続・生前贈与など、将来に備えて知っておきたい基本事項について、専門家が分かりやすく解説します。

また、大阪・東京会場では、「高齢期の住まいについて」や「老人ホームの選び方」など、普段なかなか聞くことのできない内容もお届けします。「まだ先のこと」と感じている方にも、ご自身やご家族のために早めに備えるきっかけとして、ぜひお気軽にご参加ください。



北九州セミナーの様子(2025年)



日時 2026年7月24日(金) 14:00 ~ 16:15 (受付開始13:30~)

場所 西日本FH北九州ビル7階 北九州市小倉北区鍛冶町1丁目5-1

ご参加いただいた皆さまに九大基金オリジナルエンディングノート「My Life Book」をプレゼント！

◎各セミナー詳細については、後日改めて九大基金のホームページにてお知らせいたします。

【お問い合わせ】
基金事業推進室 TEL092-802-6789

※お席に限りがございますので、お早めにお申し込みください。



当セミナーは、以下の会場でも開催予定です

- 〔福岡会場〕
●開催日：2026年9月11日(金) ●会場：JR博多シティ会議室 10階
- 〔大阪会場〕
●開催日：2026年10月23日(金) ●会場：ホテルグランヴィア大阪 20階
- 〔東京会場〕
●開催日：2026年12月4日(金) ●会場：大手町三井カンファレンス 3階

DATE
10月17日
[土]栄誉の会・感謝の集いを
開催します

日頃より本学の教育・研究活動をご支援いただいている*寄附者の皆さまを対象とした、感謝の意をお伝えする「栄誉の会・感謝の集い」を、引き続き本年も開催します。

本年は特別企画として、2018年に開館した九州大学中央図書館において、約150万冊を収蔵する「自動書庫」のバックヤードツアーをご用意しました。通常は立ち入ることのできない図書館の裏側をご紹介します。

本学の知を支える現場に触れていただける機会として、ぜひご参加ください。

※本会は、2025年度までに功労賞(個人50万円・法人100万円)以上に達した寄附者の皆さまがご招待の対象です。

- 日時：2026年10月17日(土)
●会場：九州大学中央図書館 ほか



九大中央図書館ツアーも
企画中！

各会にご参加の皆さまには、お土産をご用意しています。



イベント情報随時更新

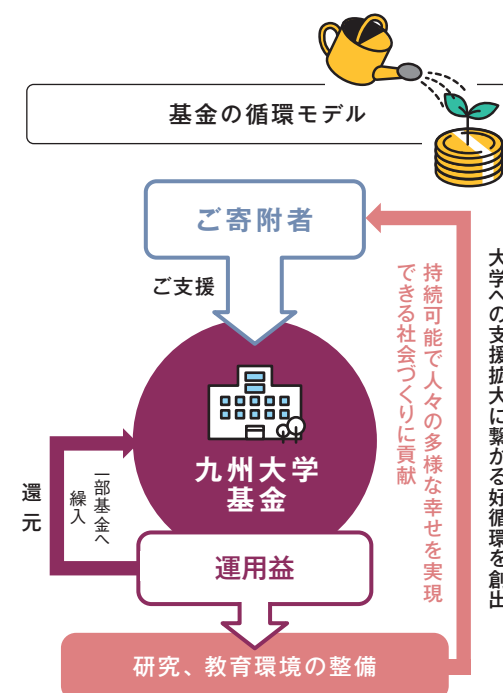


約150万冊が収まる「自動書庫」のバックヤード

【お問い合わせ】 総務部同窓生・基金課 TEL092-802-2150

皆さまのお越しを心よりお待ちしております！

九州大学基金から最新の話題をお届け



本基金は、大学がご寄附を原資として資金運用を行い、その運用益を教育・研究やキャンパス整備に継続的に活用する仕組みです。例えば、100億円の元本を年3%で運用すると、5年後には約16億円の運用益が生まれます。その運用益を元本に組み入れたり、事業に活用したりすることで、大学独自の基金として継続的な活用が可能となります。

本基金は、基金を成長させつつ、教育研究活動への支援も拡大し続けていく永続的な好循環を創出するものです。本学は法人、個人の皆さまからご支援をいただきながらこのエンダウメント型基金を共に大きく成長させることを通じて、教育研究活動への支援を更に充実させ、その成果を社会に還元してまいります。

九州大学は、2025年7月に「エンダウメント型基金」を創設しました。

九州大学総長
石橋 達朗

持続可能で人々の多様な幸せを実現できる社会づくりに貢献する大学として成長するために、一丸となって取り組んでまいりますので、本エンダウメント型基金の趣旨にご理解とご賛同をいただき、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

NEWS

九州大学総長特別顧問に本学同窓生 ロバート・ファン氏が就任

エンダウメント型基金の創設をはじめ、本学が進める中長期的な基盤づくりを推進する中で、本学は、本学の同窓生であり、グローバルに活躍する実業家ロバート・ファン氏を総長特別顧問に迎えました。

ファン氏は本学工学部を卒業後、ロチェスター大学、マサチューセッツ工科大学などで研鑽を積み、1980年にIT流通企業「SYNNEX」を創業しました。同社は2021年、「Tech Data」との合併により「TD SYNNEX」となり、世界最大のITディストリビューターへと成長しています。



ロバート・ファン氏

また、ファン氏は長年にわたり母校への支援を続けており、百周年記念事業やQREC(ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター)、課外活動へのご寄附などを通じて、本学の教育・研究の発展に大きく貢献してきました。これまでのご寄附総額は約5億円を超え、今後さらなるご寄附も予定されています。

本学は、ファン氏からの力強いご支援を受けながら、「基金の成長」と「教育研究活動への支援拡大」の好循環を永続的に実現し、イノベーションとビジネス創造の中核として、世界と伍する「アジアから未来変革を牽引する大学」への飛躍を目指してまいります。

※総長特別顧問任期：2025年10月1日～2028年9月30日



詳細はこちら

九州大学エンダウメント型基金

持続可能な大学運営に向けて

企業・団体など

- 株式会社アースアプレイザル九州
- 株式会社アステック
- アスミオ 株式会社
- 合同会社Adamas経営本部
- アドヴェンチャー
- ホールディングス株式会社
- 株式会社アトル
- 株式会社アリスト
- 安藤工事株式会社
- 株式会社wclno
- 英進館株式会社
- 株式会社オートマイズ・ラボ
- 株式会社岡部マイカ工業所
- 公益財団法人柿原科学技術研究財団
- 株式会社柏木興産
- 春日市
- 株式会社唐川電業
- 株式会社キシヤ
- 医療法人社団木村歯科クリニック

九州学友会
九州旅客鉄道株式会社
株式会社Qinet
株式会社クインック福岡
熊丸耕介先生を偲ぶ会
株式会社クラフティア
株式会社現場サポート
株式会社鴻池組 九州支店
小倉セメント 製品
工業株式会社
医療法人古森病院
コンダクト株式会社
サイセイベンチャーズ
西部ガスグループ
株式会社SUMCO
株式会社SANMATSU
株式会社RIT多摩シティ
浄土真宗本願寺派
松和産業株式会社
昭和鉄工株式会社
新北九州工業株式会社

セトル株式会社
株式会社ソフトサービス
ダイキン工業株式会社
株式会社タケマン
千代田計装株式会社
東京エレクトロン株式会社
医療法人藤杏会伊藤医院
童夢の国株式会社
東和制電工業株式会社
トーカロ株式会社
株式会社トータルメディア
開発研究所
株式会社富坂建設
トヨタ自動車九州株式会社
公益財団法人豊田理化学研究所
株式会社西日本シティ銀行
株式会社野村不動産
社会医療法人財団白十字会
白十字病院
PwC Japan グループ
株式会社福岡銀行
株式会社へいせい

株式会社北洋建設
株式会社本川牧場
マイクロンテクノロジ
株式会社マイナビ
三角商事株式会社
溝江建設株式会社
三井金属株式会社
三井住友カード株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
みやま社
レディースクリニック
村本建設株式会社
株式会社矢野特殊自動車
山下医科器械株式会社
合同会社よかごつ
公益財団法人吉田育英会
株式会社リボルブ
株式会社リボルブ・シス
他22企業・団体
(計97企業・団体)

松枝	松尾	松尾	松尾	松岡	松岡	松岡	松崎	松下	松下	松下	松股	松村	松村	松本	真子	眞田	丸龜	丸木
繁生	和正	哲治	隆至	典昭	重孝	弘憲	亮	武史	武幸	武樹子	孝	裕太	瑞子	清	弘子	宣明	孝	優子
三知																		
丸山	三島	水上	水上	水島	水谷	溝越	溝江	光武	南園	南野	峯村	三原	三村	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎
雍成	博美	鎮眞	哲也	多美也	嘉之	多佳子	啓介	治男	真也	克己	森吾	武	美幸	明広	眞雄	啓三	千明	智也
裕子																		

森田	森田	森川	森	森	本村	村山	村山	村本	村上	村上	宗像	武藤	向江	三好	宮脇	宮本	宮原	宮田	宮島
昇	順和子	皓翔	勇造	賢一	健太	正治	國弘	拓之	正司	順雄	務	勇	和博	富士夫	淳	貴洋	直樹	忠宣	德三郎
安永	安武	安田	安田	保田	安河内	安河内	安形	安浦	安井	矢木	矢木	八木	諸藤	諸藤	諸住	師井	森山	森永	森竹
大輝	聡	吉秀	和秀	友世	篤	健児	寛人	聖子	国夫	明	宏樹	周平	昌弘	紀子	玲	邦代	晋哉	希望	

山田	山田	山下	山下	山下	山崎	山崎	山口	山口	山口	山川	山川	山内	山内	矢野	柳原
拓実	修司	昇	哲生	毅	賢祐	弘勝	文幸	洋幸	さおり	敦子	唐徳	悠太	薫一彦	宏二	好孝
吉井	横田	由削	湯浅	湯浅	山本	山本	山本	山本	山本	山村	山根	山中	山手	山田	山田
結衣	修季	駿一郎	顕太郎	彰	真理	昌宏	碩徳	紀子	直卓	貴義	聡博	直美	敏明	秀俊	誠三郎

吉田 圭吾	和田 孝志
吉田 泰彦	和田 万里
吉竹 知春	渡部 晃久
吉野 由紀子	渡邊 亨子
吉原 達也	渡邊 諄二
吉原 幸宏	渡辺 拓
吉松 幸義	渡辺 寛
吉松 幸敏	渡邊 正之
吉水 千賀子	渡邊 祐二
吉村 俊亮	渡部 由美子
吉村 武	渡邊 陽司
吉村 元秀	他 547名
吉本 尚平	計 1440名
与那嶺 亮	
米永 基子	
羅 英杉	
笠 邦彦	
竜 順一	
林 震煌	
Robert Huang	
YBF	
脇 佳子	

川村	高・ たみ子	川村	秀久	河本	昂己	神尾	敬子	神庭	重信	岸本	惠美	鬼石	康之	北嶋	信顕	北原	靖久	北村	嘉朗	木下	勝弘	君塚	信夫	Kim Jeongyun	木村	葵	木村	妙子	木村	拓也	木元	正	清澤	惠理子	清隆	智	清松	幸生	吉良	幸生
桑畑	克彦	郡司	敏郎	上妻	明一	河野	通宏	郡山	未樹子	古賀	毅敏	古賀	千穂	古閑	日出昌	古賀	正章	小寺	隆	後藤	加奈子	伍藤	忠春		五島	久	小西	健一郎	小橋	一彌	小林	聡子	小林	健明	小林	千紘	小林	恒喜	小林	直央

坂本洋一	佐相康樹	櫻井龍子	桜川冴子	酒見武志	佐々木暁	佐々木紘一	佐々木智成	佐々木稔	笹本直美	貞方直美	貞刈厚仁	貞松直美	佐藤三穗	佐藤功崇	佐藤尚代	佐藤三洋	佐藤三洋	佐鳥浩之
正野英憲	城野裕	白井朋之	白石明日香	白水宏典	新水俱弘	新宮直行	新小田順卓	仁多英夫	陣内陽太郎	末村侃昌	菅野道廣	菅原健一	杉田文	杉野和記	杉野博二	杉村諒	杉村隆史	杉本秀也

高野	高橋	高橋	高橋	田北	田口	武內	武內	竹內	竹熊	武居	武田	竹野	竹之山	武村	竹本	田島	田代	田代	田代
志保	和也	誠	美香	正年	昌史	信博	美登里	基浩	真波	良裕	和昭	博之	惠美	光広	博子	淳一	真由美	光樹	純一
張	辻塚	對馬	堤	堤	綱脇	常松	常吉	角田	坪田	坪田	津守	鶴崎	鶴田	鶴丸	手島	手嶋	テス	全	東定
瑞娜	愛子	清行	祥子	俊夫	卓巨	百合	仲行	江里	滿彦	不二	新	洋一	光	俊輔	小夏	正昭	哲夜	宣昌	裕治

中田博久	永田武	仲田聡一郎	中田曾根昇	永瀬信彦	永末秀一	永嶋又次郎	中嶋啓雅	中嶋直美	永嶋知子	中嶋孝行	中嶋新太郎	中嶋敬介	中嶋和博	長澤誠二	長澤志麻子	長澤一成	長迫有紀	中倉敏行	中川康次郎	中川民子
野口徹	能美秀彦	納富健一	貫玲児	西山珍義	西山亨	西山政	西本昭二	西野裕雅	西嶋勝之	錦織晃太	西川剛史	西川真弓	西川俊巨	西川公彦	新山博亮	南里一夫	檜原柳一	檜崎清子	永山義崇	永山美加

金本	金森	金山	金子	金武	兼利	上村	荻田	川合	河上	河口	河口	川崎	川崎	川崎	川田	河野	河野	河野	川野	川野	川原	川淵	
大成	英俊	敬三	正吾	淑子	昌之	裕文	昌己	晃生	博喜	智昭	豊	千之	誠康	満	俊展	秀美	雅樹	雅也	裕美子	陽一	陽子	春花	
釘宮 榮作	釘宮 政枝	日下部 俊明	日下部 豊	草川 はるか	工藤 俊治	國信 健一郎	國吉 真永	久保 春治	久保 文子	久保 美智子	久保園 遙	久保田 哲也	久保田 博	久保田 行雄	久保谷 豊	久保山 徹	熊野 厚司	熊野 祐司	熊本 光利	倉谷 重嗣	倉成 賢治	黒木 敬子	桑江 満真

坂本 透	坂本 龍成	坂本 榮生	坂本 一弘	坂本 敦紀	坂岡 和貴	境澤 卓也	坂井 克己	坂井 康生	酒井 淨	佐伯 彰彦	才野 雅史	斉 珂	近藤 通弘	權藤 說子	權藤 牙希	小柳 利宏	小宮 紀史	小峰 政文	小松 原	小林 亮介	小林 良和
大東 泰宏	ZHAO	下窪 賢至	下川 英四	志水 高子	清水 周次	清水 勝一郎	島松 博	島ノ江 憲男	島内 雄治	渋谷 徹也	柴田 智宏	篠宮 航太	篠原 孝	篠塚 寛子	重藤 寛史	鹿田 宏治	塩塚 賢輔	塩瀬 明	山東 誠	澤田 弘一	佐野 弘剛

高倉	高木	高尾	高石	田浦	田内	大長	大長	園田	園田	園田	早田	仙野	瀬崎	関口	清家	炭本	角田	砂川	簾	鈴木	鈴木	須崎	杉山
英政	修志	壽美恵	恭輔	政彦	紀美子	陽子	和保	佳巨	紀子	奈津子	耕一	万里子	敏博	興洋	友二	隆	方衛	隆	さゆり	義則	浩二	宗幸	宗幸
雪和	多田	田淵	田原	種	谷口	谷口	谷上	田邊	田邊	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	立石	伊達	伊達	多田	多田
延夫	真	由美	正人	かす	義典	英	陽	萌	明正	良和	陽子	陽子	美弥	貢	寅太	孝夫	郁夫	あか	英司	克哉	洋介	由香	軒次

藤内武徳	堂前啓一	時任修一	渡久地和子	徳永早希子	徳永衆一	外波雅史	富岡伸夫	富崎哲央	富崎松代	富田寛祐	富永崇司	富永智樹	富永雅典	塙本勝久	豊島光雄	豊留博一	永井俊幸	中家康智	長永早苗	中尾敏子	中尾充宏	中岡政台
中武一明	中西麻子	中西常道	中西洋一	中野光男	中原滋	中原雅考	中平圭祐	永松弘充	永松文夫	中溝公次	中村さと	中村隆彦	中村毅	中村忠彌	中村徹也	中村直寿	中村寿	中村浩昭	中村博樹	中村博巳	中本智子	中山王登

葉山	早野	林田	林	林	林	林	濱中	濱地	濱地	濱田	濱崎	浜口	馬場	馬場	花岡	八山
晴之	裕文	慎一郎	誠	幸広	早失仕	親則	英範	貴文	彬文	繁	浩一	桂子	元和	修	育志	孝夫
福田	福田	福田	福田	福田	福田	福島	福井	深町	廣渡	廣畑	廣常	廣田	廣嶋	平山	平野	平岡
直正	哲子	昂三	恵三	清枝	悠介	広子	裕子	栄三郎	勉	春奈	信之	憲治	道子	友茂	洋子	豊將

增田 知子	增田 朋和	牧之内 優文	前田 昌宣	前田 英和	前田 浩二	本田 泰子	本田 知宏	堀田 健志	堀田 善治	堀内 芳彦	堀内 隆治	堀内 崇	帆足 混明	帆足 新一郎	戸次 孝二郎	古家 秀樹	古野 正彦	古川 寛士	古川 昌利
-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	-------

野尻	野田	野田	野田	野田	野中	野々村	野村	野村	野元	萩原	朴	橋内	橋口	橋爪	橋詰	橋本	橋本	橋本	橋本	橋本	蓮井	長谷川	長谷川	羽田野	羽田野	野
武生	一真	龍也	智子	史織	保晃	利哉	崇代	龍雄	圭	麻衣子	友博	ゆかり	悦子	妙子	隆志	尚美	光紀	恭明	智道	健	弘	節夫	大樹	凌		
原	原	原	原	原	原	原	原	原	原	原	萬代	坂東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	
廣美	宏宏	篤一郎	和明	剛志	輝彦	直幸	孝志	老史	康久	徹	宏信	英寿	秀憲	昌俊	俊治	学	良雄	貴士	孝子	豊美	毅	照幸	英治	念	平井	

古川	船津	船越	舟木	藤原	藤本	藤本	藤光	伏見	藤田	藤田	藤田	藤瀨	藤尾	福井	譜久村	福光	福味	福岡	福岡	福岡	福岡
家善	祐治	建明	秀明	寬典	晃嗣	康宏	聡一郎	昌弘	慎也	敦子	多佳子	利香	和成	茂之	清江	泰介	憲正	慶明	創一	洋人	英博

